

事業概況

自動車部門

乗る人全てにとって
安心して楽しい走りを約束する
クルマの開発を続けています。

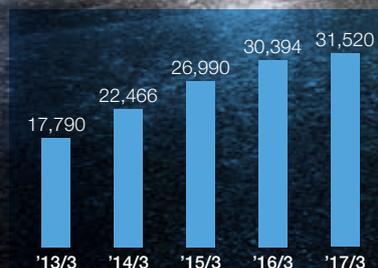
当社は、1958年に「スバル360」を発売して自動車メーカーとしてのスタートを切りました。以来、水平対向エンジンやシンメトリカルAWDなどの独創的な技術を搭載した個性的なクルマを次々と世に送り出し、日本の自動車産業の発展に寄与してきました。また、運転支援システム「アイサイト」の進化や、次世代プラットフォーム「スバルグローバルプラットフォーム」採用による安全性能・走行性能の向上、国内メーカー初となる歩行者保護エアバッグ採用など、全てのお客様に「安心と楽しさ」を提供するための新しいチャレンジを続けています。



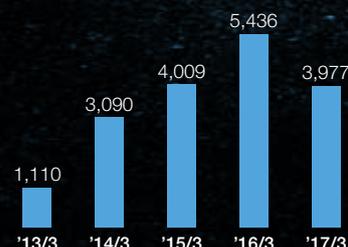
自動車部門の
連結売上高全体に占める割合



売上高
(億円)



営業利益
(億円)

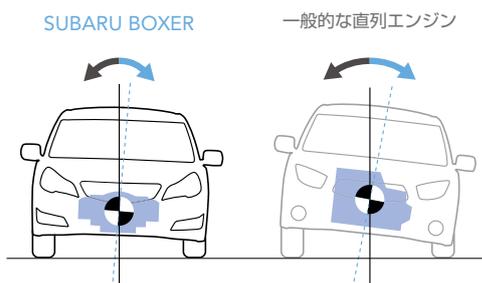


SUBARUの独自技術

水平対向エンジン (ボクサーエンジン)

軽量・コンパクト・低重心

SUBARUが理想のパワーユニットの一つとして提案し続けてきた、水平対向エンジン。ピストンが左右に水平に向き合う形で配置された水平対向エン



ジンは、回転バランスに優れているほか、エンジン全高が低く、軽量・コンパクトな特性により、車体の低重心化にも貢献します。

シンメトリカルAWD (All Wheel Drive)

前後左右の優れた重量バランス

水平対向エンジンのもたらす低重心と、トランスミッションを車体中心近くに集めることで実現する前後左右の優れた重量バランスが、AWDの能力を最大限に引き出し、さまざまな状況で卓越した走行性能を発揮します。日常走行から高速走行まで、ドライバーの信頼に足るメカニズムの「核」として、SUBARUはシンメトリカルAWDにこだわり続けます。

商品ラインアップ

LEGACYシリーズ

LEGACY



OUTBACK



連結販売台数合計:344千台

販売地域:日本、北米、ロシア、欧州、豪州、中国、その他

FORESTER



連結販売台数合計:297千台

販売地域:日本、北米、ロシア、欧州、豪州、中国、その他

WRX



連結販売台数合計:54千台

販売地域:日本、北米、ロシア、欧州、豪州、その他

IMPREZAシリーズ

IMPREZA



(SEDAN)



(5 Door)

SUBARU XV



連結販売台数合計:290千台

販売地域:日本、北米、ロシア、欧州、豪州、中国、その他

LEVORG



連結販売台数合計:31千台

販売地域:日本、欧州、豪州、その他

SUBARU BRZ



連結販売台数合計:9千台

販売地域:日本、北米、欧州、豪州、中国、その他

EXIGA



連結販売台数合計:4千台

販売地域:日本

OEMモデル

JUSTY



DIAS WAGON



STELLA



PLEO



SAMBAR



連結販売台数合計:32千台

販売地域:日本

(ダイハツ工業株式会社からのOEM供給です)

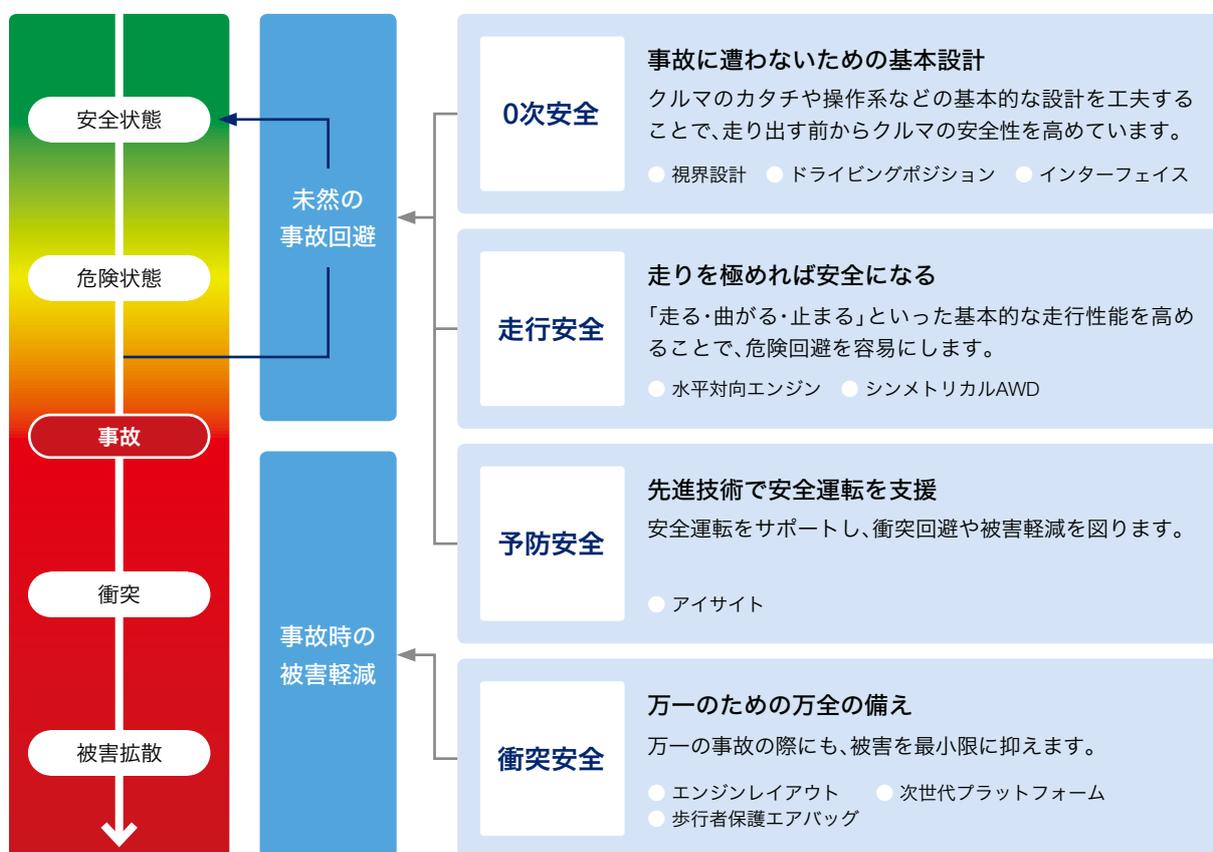
※ 対象期間は2016年4月1日から2017年3月31日です。

自動車部門

世界最高水準の安心・安全を お客様に届けるために。

SUBARUでは、あらゆる視点からクルマの安全性能を追求する「ALL-AROUND SAFETY」という考え方のもと、「0次安全」「走行安全」「予防安全」「衝突安全」という4つの軸でクルマづくりの安全を捉えています。

SUBARU ALL-AROUND SAFETY



世界で評価される安全性能

日本、米国、欧州、豪州のNCAP※1、米国のIIHS※2など、国内外の公的機関による安全性能試験・評価を受けており、その多くで最高ランクの評価を獲得しています※3。

日本では、2016年度のJNCAPにおいて、インプレッサ、SUBARU XVが過去最高の得点を獲得したことにより「衝突安全評価大賞」を受賞しました。また、アイサイトを搭載する全ての車種が最高ランクの「予防安全性能評価 ASV++」を獲得しました。

※1 安全性能総合評価(New Car Assessment Program)

※2 米国道路安全保険協会(The Insurance Institute for Highway Safety)

※3 各評価内容については、各評価機関のホームページをご参照下さい。

アイサイトとは

先進技術でドライバーをサポートする運転支援システムです。自車の状況に応じて、警告・ブレーキ・ステアリング制御を行い、「事故回避・被害軽減」「運転負荷軽減」を支援します。現在、日本、北米、欧州、豪州、中国市場を中心に展開しており、今後さらにグローバル展開を進める予定です。



ぶつからない
技術



ついていく
技術



飛び出さない
技術



はみ出さない
技術



注意してくれる
技術

なぜステレオカメラなのか

人の目と同じように左右2つのカメラで、視野内のクルマ、歩行者、自転車、バイクなどを複数同時に、立体的に認識することができます。さらに、対象との距離や形状、移動速度を正確に認識できることが特徴です。先行車や歩行者などを検知するためのセンサーとして、ほとんどのメーカーがレーダーか、レーダーとカメラの組み合わせを採用していますが、SUBARUのアイサイトはステレオカメラのみ。長年磨き続けてきた、ステレオカメラの高い認識性能は、他社には無いアドバンテージです。



ステレオカメラ



ステレオカメラの画像イメージ

運転支援システム開発の歴史

アイサイトのコアとなるステレオカメラの開発は先進安全技術の必要性が広く理解されていない時代に、当時では斬新な安全技術の構想のもと、1989年に開発がスタートしました。以降、地道な走り込みと研究を重ねた結果、2008年世界で初めてステレオカメラ単体によるプリクラッシュブレーキを実現したアイサイトが誕生。現在世界中の安全性能試験・評価でトップクラスの評価を獲得し、また多くのお客様からも高い評価をいただいている安全性能は、これまでの長い年月の間に培われた確かな技術と豊富な経験によって支えられています。

- 1989年 システム開発のスタート
- 1999年 **世界初** アイサイトの前身、ADA(アクティブ・ドライビング・アシスト)を市販化
世界初ステレオカメラを使った運転支援システムを市販車に搭載
- 2008年 **世界初** アイサイトを発売
世界初ステレオカメラのみでプリクラッシュブレーキを実用化
- 2010年 アイサイト(ver.2)発売
- 2014年 アイサイト(ver.3)を発売
- 2017年 「ツーリングアシスト」機能追加

事業概況

航空宇宙カンパニー

伝統と革新の技術を活かし、 多種多様な航空機の 開発・生産を担っています。

当社の前身は1917年に創設された「中島飛行機研究所」をルーツとする「中島飛行機」。航空機づくりの技術とスピリットを受け継いで日本の航空宇宙産業をリードし、多種多様な航空機の開発・生産で実績を残しています。主に航空機を中心に主翼と胴体を支えるため高い精度と組立技術を要する中央翼を開発・生産。これまで培ってきた独創的で先進的な技術のもと、世界的に存在感のある航空機メーカーへの発展を目指し、常に新たな分野に積極的に挑戦していきます。

5.2%

航空宇宙カンパニーの
連結売上高全体に占める割合



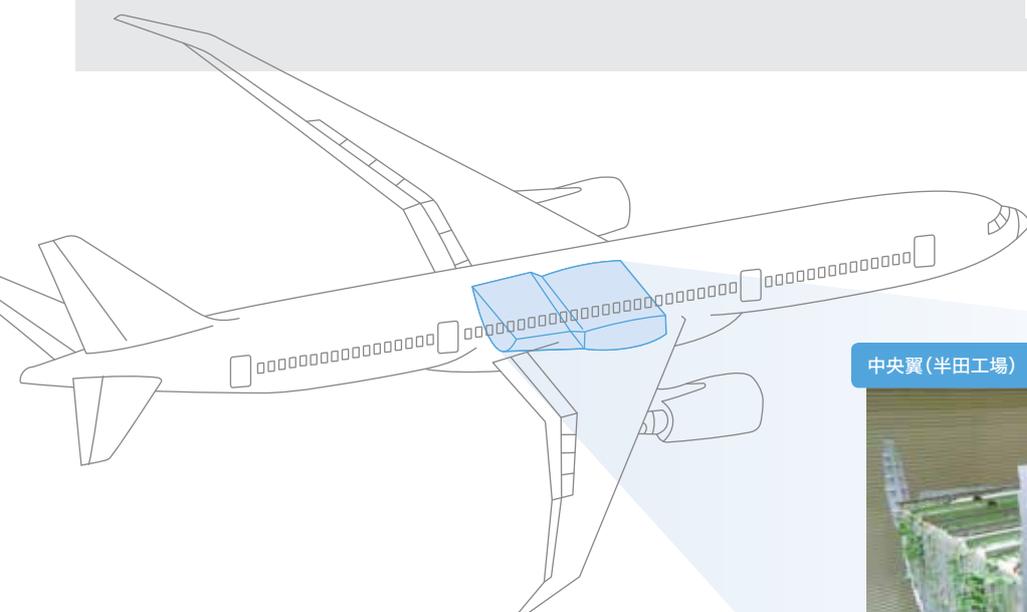
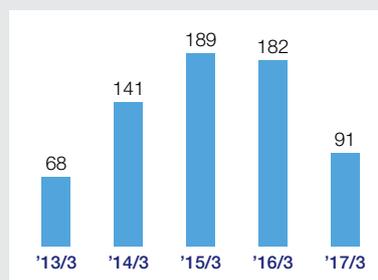
売上高

(億円)



営業利益

(億円)



中央翼(半田工場)

